

今週の相場はどうなる？ 今週の相場はどうなる？

作成者：山根亜希子

○8月4日～

先週は日本以外の多くの国の関税率の発表がありました。

ユーロ圏(EU)や韓国は日本と同じ関税率(15%)となりましたが、カナダは米国との交渉が上手くいかずに35%となりました。

また、インドも25%となりました。理由はロシアの石油と武器を購入しているからということです。米国はロシアに対する制裁も強めてきており、ウクライナとの停戦合意の期限を早めて、8月8日に変更しました。当初は9月初めくらいだったのが今週が期限となります。

停戦に応じない場合、ロシアに制裁をすると言っていますが、実際にはロシアと貿易している国にも制裁をするので、影響はロシア以外の中国、インドなどの方が大きくなりそうです。

インドは関税も高めに決まったので、さらに制裁をかけられると打撃が大きくなりそうです。

そもそも米国とロシアはほとんど貿易をしていません。ずっと制裁している状態だからです。

為替相場も株価もニュースで乱高下するような不安定な動きですが方向感がわかりにくく、中長期的な見通しは難しい状況です。

先週は予想通り、日米ともに政策金利は据え置きとなりましたが、次回の金融政策の変更がいつになるのかまだわかりません。

植田・日銀総裁の発言から少し円安にドル／円は動きましたが151円台は何度か高値をつけたレートなので、レジスタンス(抵抗)として中長期的に意識されています。

また、米国株は強い動きとなっていましたが天井の可能性も出てきたため反落注意です。

4月の関税騒動、6月のイランへの攻撃などマイナス要因があったにも関わらず、株はリスクオンの動きが4カ月程度続きました。サイクル的にも一旦、調整が入ってもいい時期です。

先週末に発表された雇用統計が予想より悪かったためドル／円も急落、株も大きく下落して先週のNYのマーケットは終わっています。週明けからの動きが気になります。

8月から秋にかけては、株が下げやすい時期なので、引き続き注意して見ていきたいです。

また、関税の影響が出てくるのが夏以降ということもあり、実際に経済指標や企業決算が厳しい数字になってくれば相場にも影響します。

新たな関税措置は8月7日からスタートということで、今週はロシアの停戦合意の期限もあり、お盆前にポジションの調整などが起こるリスクは想定しておいた方がいいかもしれません。

そして、日本の政治動向にも注意がいります。

石破首相退任となった場合、高市氏などの名前があがってくれば、昨年9月末(自民の総裁選)のように急激な円安、株高の動きが出るかもしれません。

水星の逆行期間は相場が荒れたり、暴落が起こることが多く、4月の暴落も水星の逆行期間(3月15日～4月7日)に起きました。

8月11日まで水星の逆行期間となっているため慎重にトレードしていきたいです。

今週の相場はどうなる？ 今週の相場はどうなる？

● テクニカルで見た重要ポイントは？

<ドル／円>

先週は雇用統計発表後に3円以上も急落して、ドル／円は147円前半でマーケットが終わっています。先週末の終値が147円台なので、行って来いのような動きとなりました。

下値は147.2円を割り込むと146円あたりまで下落するリスクがあります。

ここも割り込むと144円あたりまでサポートが少なく、注意がいります。

上値は149円あたりの抵抗を超えれば、再度151円を目指す動きが出そうですが、149円あたりで上値が重くなってくると円安の勢いは弱まりそうです。

<気になるクロス円>

ユーロも久しぶりに週足で陰線となりました。

春以降、強い動きが続いていましたが流れが変わってきた可能性もあるため、今週の動きは注意がいります。

また、ポンドも大きく下げてきました。今週は英国が利下げに動くという予想なので、さらにポンドが売られる動きが出るかもしれません。

クロス円は米国株が先週末に大きく下げたこともあり、このまま株価が崩れていくと大きめの調整が入るリスクがあります。安値更新の動きには警戒したいです。

*クロス円とは円との通貨ペアの総称：〇〇／円というような通貨ペアのことです。

<今週のファンダメンタル？>

日本では日銀・金融政策決定会合議事要旨、6月貿易収支などがあります。

米国では6月製造業新規受注、6月貿易収支、7月サービス部門・総合PMI(改定値)、7月ISM非製造業景況指数、前週分新規失業保険申請件数などの発表があります。

欧州では、ドイツとユーロ圏で7月サービス業PMI(改定値)、ユーロ圏で6月卸売物価指数、6月小売売上高、ドイツで6月製造業新規受注、6月鉱工業生産などがあります。

ほかには、英国で政策金利、英中銀金融政策委員会(MPC)議事要旨、カナダで7月失業率、中国で7月貿易収支の発表などがあります。